

開発や発展とは何を意味しているのだろうか

こんな問題に取り組んでいます

開発や発展というと、経済発展や経済開発を連想しがちです。しかし、所得を増すという意味での経済発展や経済開発は「手段としての所得」に注目していると言えます。本当は、そのような手段を使って、どのような暮らしを達成できているのかが重要です。それを捉えようとする概念がアマルティア・センの「ケイパビリティ」であり、この概念を開発の様々な分野に応用し、開発や発展を考え直すという研究を行なっています。

こんなことを研究しています

- ・ベトナムにおける少数民族の「貧困問題」:ベトナム中部高原地域における少数民族の貧困問題について、コーヒー、観光、有機農業の観点から研究しています。この地域はコーヒーの大産地であり、コーヒー生産が少数民族の暮らしにも大きな影響を与えます。同時に、豊かな自然と少数民族の文化は観光資源としても重要です。
- ・タイにおける地方間格差:タイは「豊かなバンコク」と「貧しい東北タイ」という枠組みで捉えられますが、この捉え方は単純すぎ、対立を煽る結果となっています。本当の「格差」とは何かについて研究しています。

連絡先: 東京大学 東洋文化研究所
池本幸生 <ikemoto@ioc.u-tokyo.ac.jp>



ベトナム中部高原(ダクラク省)のコーヒー農民(右)と。背景はコーヒーの木。



東北タイの有機農業のグループの人たちと。



ベトナム国家大学 ホーチミン校 人文社会科学大学 ベトナム・東南アジア研究所と密接に研究協力を行なっている。写真は、学生向けのセミナーを行なったときのもの。